

幸福を、平和を、豊かな心を、カンボジアの友と分かち合おう

Angkor Wat

アンコールワット

発行日:2020年(令和2年)1月1日 《年6回・奇数月発行》

会報 第110号

特定非営利活動法人(NPO法人)

21世紀のカンボジアを支援する会

《AAC21》ASSOCIATION OF AID FOR CAMBODIA IN 21 CENTURY

【東京本部】〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-25-7-203
TEL:03-3991-2854 FAX:03-3557-1213
E-mail:info@aac21.net【カンボジア事務所】Phon Preytea, Sangkat Chaom Chao, Khan Por Senchy
Khan Por Senchy, (Borey Newtown) Phnom Penh
(855) 78-784-808 (855) 17-599-707【ホームページ】 [カンボジア支援](#) [検索](#)【公式ブログ】 [メコンの風に吹かれて](#) [検索](#)

「夢ホーム・里子訪問の旅」に会員17人が参加

11月7日〜13日、通算43回目の「夢ホーム・里子訪問の旅」が行われ、一部参加含む17人の本会会員が参加した。

旅の参加者で構成する「夢ホーム・里子訪問の旅実行委員会」が主催、本会は側面からサポートした。

7日午前中、成田国際空港に集合、ANA直行便で一路カンボジアの首都プノンペンへ。

8日、コンボンチャム県にある「トゥールチャン小学校」(生徒数248人)と「チャバアム・パウ小学校」(生徒数238人)を訪問、井戸とトイレの贈呈式に参加、生徒たちに学用品セットを配りしほし交流した。

9日、プノンペン郊外とプノンペン市内に分かれて、それぞれ史跡巡りなどを楽しんだ。

10日、本会が運営する児童養護施設「夢ホーム」(コンボンスプー県、児童数15人)を訪問、その後近くにあるスラム街を訪問し、住民にリサイクル衣料品を配布した。

11日、村で暮らす教育里子の家庭を訪問、里親さんを中心に、支援する

里子と交流した。

12日、予定していたワットコフ小学校、出前授業が都合により中止になったため、宿泊ホテルの近くにある「オルセイマーケット」を見学した。

12日〜14日、オプション旅行として、6人が「アンコールワット&トンレサップ湖観光」に参加した。

次の訪問の旅を3月5日(木)〜11日(水)に予定、参加者募集を開始した。

参加希望者は本会事務局へ資料請求を。

●電話 03・3991・2854

●ファックス 03・3557・1213



学用品を配りました



里子の家庭を訪問しました

子どもフェスティバル(運動会) 開催のご案内

来たる3月8日(日)、第44回「里子訪問・学校訪問の旅」の中で、小学校の校庭を借りて「子どもフェスティバル」(運動会)を開催いたします。会場は、里子数60人の「プレーク小学校」(トゥボンクモム県)を予定しています。



特に「プレーク小学校」に里子をお持ちの会員様には、ご参加願ひ申し上げます。

プログラムは、綱引き、玉入れ、タイヤ引きリレーなどを予定しています。景品として、リサイクル用品を配布する予定です。参加される方はご持参頂けるとありがたいです。

季節は乾季へと移り、しのぎやすい日々を過ごしました

NPO法人21世紀のカンボジアを支援する会 理事長 根岸恒次

11月7日〜23日、カンボジアに滞在した。7月以来、4カ月ぶりの訪問だった。

既に季節は乾季へと移り、朝晩は気温が低く凌ぎやすい日々を過ごした。

滞在中、カンボジア最大の行事「水まつり」が全国で行われ、プノンペンでもトンレサップ川でボートレースが行われていた。夜は花火や幽玄な電飾の船が出現、大勢の市民が「水まつり」を楽しんでいた。

心配なことが一つあった。亡命中の野党指導者が本国へ帰還するのではという情報があり、空港を含むプノンペン市内の要所に、銃を持った兵士が警戒警備に当たっていた。

戻れば即逮捕という情報もあり、野党指導者は入国を断念し海外にとどまったようだ。

香港の政情不安が飛び火しないかとの政権側の思惑があつて、政権与党に反対する勢力の取り締まり強化を懸念している。

政治と経済は表裏一体、政権与党の強引な政治手法に欧米諸国が強く反発し、経済制裁の一手手前まできている。

衣料品などのカンボジア製品は、最恵国待遇を受けて関税がゼロのため輸出が好調、しかし経済制裁が発動されると関税がかかり、カンボジア国内の縫製業などは深刻な経営不振に陥る可能性がある。そうならないことを願うばかりだ。

政治・経済の混乱をよそに、私たちはひたすら支援と交流活動に専念した。



便利な乗り物「パスアップ」

日本のスマホはカンボジアでは高すぎて売れないだろう。スマホで乗り物を呼べる機能(パスアップ)があり、使い始めたら意外に簡単、いまやスマホなしではカンボジアで暮らせなくなつた。いよいよ、私もカンボジア人になつてつある。

カンボジアの子どもたちをサポートしてください

クメール教育里親会員募集

長かった内戦が終わって平和になったカンボジアですが、国の復興はなかなか進まず、多くの人は貧困に苦しんでいます。特に農村では、貧しかったり親を亡くしたりして学校へすら行けない子どもや、学校へ行けても途中でやめてしまう子どもが後を断ちません。

本会では、農村の子どもたちが学校へ行けるようにと、教育資金をサポートしてくれる里親さんを募集しております。

思えば74年前、敗戦して焦土となった日本を救ってくれたのは、諸外国からの援助でした。カンボジアも食料援助をしてくださいました。日本の子どもたちもその恩恵を受け学校に行けるようになりました。豊かになった私たちが、今度は困っているアジアの子どもたちを支援する番です。

※お友達グループや職場など、グループ単位でサポートしていただくこともできます。



里親さん、ありがとう

【教育里親会費】子ども1人につき 1年間3万円。

- ・内訳
子どもへ直接支援する額=12,600円(42%)
年会費(会の運営に回す額)=17,400円(58%)
・子どもへの直接支援額を高めるよう努力しております。
- ・一括納入、分割納入(毎月、年2回)のどちらでも可。
- ・所定の郵便振替用紙を使いお振込みください。

【支援する期間】・少なくとも子どもが学校を卒業するまでの間、支援して頂けたら幸いです。やむを得ず子どもが中退する場合もありますが、その際は別な子どもの支援をお願い申し上げます。

【子どもとの交流】・子どもからは概ね6ヶ月に1度、近況を報告する手紙(日本語に翻訳)と写真が届きます。
・里親から手紙、プレゼントを届けることができます。(子どもから写真とお礼の手紙が届きます)
・年3回実施の「里子訪問の旅」に参加し、里子に会うこともできます。

第6回 寄贈した校舎などの 再点検プロジェクト

11月13日、平古場副理事長と及川副理事長が、本会が過去に校舎や井戸を寄贈した小学校をアポなし訪問、現状をリサーチした。

【訪問した小学校】

【名称】トゥールサコウ小学校
(生徒数=415人、教師数=19人)

【所在地】

コンボンスプー県ボーセッ郡
(プノンペンから車で約2時間)

【寄贈年】

2008年に富山県の

会員様が5教室の校舎を1棟寄贈

【点検の所感】

- ・教室床のセメントがはがれていた。
- ・教室のドアが一部破損していた。
- ・外壁の汚れが目立った。

【修理目標額】

ざっと見積もり、約50万円あればすべての修理が完了すると思われます。

皆様のご支援をよろしくお願いたします。

(寄付金の締め切りは6月末日まで)



教室の
床の損傷が
目立つ

児童養護施設 夢ホーム日記

カンボジアのコンボンスプー県にある児童養護施設「夢ホーム」は、両親や片親を亡くしたり、親がいても不遇な家庭環境にある子どもたちの教育と生活の場として、会員の皆さまのご厚意により2009年3月に開園しました。

現在11歳～15歳の男子5人が暮らし、近隣の小・中学校に通学しています。

■11月10日、第43回「夢ホーム・里子訪問の旅」の参加者ら20人が訪問、昼食を食べながら子どもたちと交流した。中央大学ゼミの学生さんたちも加わり、和やかな昼食会だった。

■10月、女子入園児童3人が退園、それぞれの自宅へ戻った。現在、男子入園児童5人のみとなった。



「夢ホーム・里子訪問の旅」
昼食会

カンボジアの小学校に5つの井戸が完成

11月8日、第43回「夢ホーム・里子訪問の旅」の中で、「清友会」様が「トゥールチャン小学校」に寄贈した井戸贈呈式を行った。その日、「札幌手稲高等学校家庭クラブ」様が「チャパムパウ小学校」に寄贈した井戸贈呈式も行った。

11月15日、「国際ソロプチミスト安城」様が「プムタメイクメー小学校」に寄贈した井戸贈呈式を行った。根岸理事長が出席した。

11月20日、「神戸ユネスコ協会訪問旅行」の中で、「神戸ユネスコ協会&山口かおる」様が「カバールオー小学校」に寄贈した井戸と、「神戸ユネスコ協会様&今村龍雄様」が「トゥールソビ小学校」に寄贈した井戸贈呈式を行った。すべての井戸からきれいな水が出て、生徒たちはとても喜んでた。



札幌手稲高校家庭クラブ様寄贈の井戸



贈呈式でテープカットする
清友会の清水様



神戸ユネスコ協会&今村龍雄様
寄贈の井戸



神戸ユネスコ協会&
山口かおる様寄贈の井戸



国際ソロプチミスト安城様
寄贈の井戸

11月に完成した井戸の内訳

	寄贈者名	学校名	生徒数	所在地(県名)
1	清友会 様	トゥールチャン小学校	248人	コンボンチャム県
2	札幌手稲高等学校家庭クラブ 様	チャパムパウ小学校	238人	コンボンチャム県
3	国際ソロプチミスト安城 様	プムタメイクメー小学校	163人	コンボンチュナン県
4	神戸ユネスコ協会&山口かおる 様	カバールオー小学校	214人	コンボンスプー県
5	神戸ユネスコ協会&今村龍雄 様	トゥールソビ小学校	323人	コンボンスプー県

※通算の井戸設置数(2003年～): 342基 (11月現在)

教育支援を お願いします!

「クメール教育里親基金」では、教育支援を希望するカンボジアの子どもたちを会報紙面で紹介いたします。支援してください。さる方は、子ども

の名前を添えて本会事務局まで一報ください。
なお、既に里子をお持ちの方も歓迎いたします。顔の見える、マンツーマン方式の教育支援です。

☎03・3991・2854



ブーイ・メンホー君
(男の子)
プレチークむつこ小学校
1年生 (7歳)

- 家族構成Ⅱ両親が離婚、母親と弟(2人)の4人で暮らしている。
- 好きなことⅡサッカーをするのと。

※4人が通学する「プレチークむつこ小学校」は、プノンペン市内から車で約2時間半、日本が寄贈した「きずな橋」の近くの、とても貧しい村にあります。2015年、本会が校舎を寄贈しました。



リー・ラッタナー君
(男の子)
プレチークむつこ小学校
2年生 (8歳)

- 家族構成Ⅱ両親が離婚、兄・妹・母親の4人で暮らしている。
- 好きなことⅡサッカーをするのと。



ボラン・リャカナーちゃん
(女の子)
プレチークむつこ小学校
1年生 (6歳)

- 家族構成Ⅱ両親が離婚、母親はプノンペンの縫製工場働いている。
- 弟と、祖父の家で暮らしている。
- 好きなことⅡ本を読むこと。



ソット・ソベアトラー君
(男の子)
プレチークむつこ小学校
4年生 (12歳)

- 家族構成Ⅱ両親が離婚、母親と3兄弟の5人で暮らしている。
- 好きなことⅡ本を読むこと。

プレチーク小学校と 平田小学校の絵画交流

11月16日、及川副理事長含む3名が、里子約60人が通学する「プレチーク小学校」(トゥボンクモム県・生徒数=600人)を訪問、「平田小学校」(岩手県釜石市)の生徒たちが描いた絵画や習字を届けた。

3月には、プレチーク小学校の生徒が描いた絵画を「平田小学校」に届ける予定。



ありがとう、日本のお友達

関連活動アラカルト

11月7日～12月5日、遠藤啓さん(静岡県、会員)が長期にわたりカンボジアに滞在、前半は「プノンペン」にいて「夢ホーム・里子訪問の旅」に参加し、後半は「シエムリアップ」に移動し、小学校を訪問して集合写真を撮り、生徒たちに差し上げました。

鈴木さん(故人)が寄贈した
小学校を訪問しました



11月13日～19日、木村恵美子さん(大阪府、里親会員)と友人がカンボジアを訪問、ご自身の里子を訪問したり、井戸贈呈式に出席しました。ご主人が社長を務める「有限会社スピードテック」が、小学校にトイレ棟を寄贈してくれました。

里子を訪問しました
(木浦恵美子様)



備品などを
寄贈しました
(宮下隆彦)

11月27日～29日、榎戸徹彦さん(横浜市、里親会員)が「夢ホーム」で第41回「製造によるアクセサリ作り技術講習会」を開催、夢ホームの子どもたちが受講しました。

11月21日～25日、宮下隆さん(東京都、里親会員)が友人を連れてカンボジアを訪問、ご自身が校舎を寄贈した「セナープロモック小学校」を訪問し、学校から要望があった備品などを寄贈しました。

クメール教育里親基金活動レポート



里子の家庭を訪問しました

本会では、病気や事故、親の離婚などにより両親や片親をなくしたり、親がいても貧しい家庭環境にあるカンボジアの子どもたちが安心して学ぶことができるよう、2003年に「クメール教育里親基金」を創設、現在約390人の子どもたちを教育支援している。

11月9日、10日、11日、第43回「夢ホーム・里子訪問の旅」に参加した教育里親さんを里子の家に案内し、プレゼントを届けて里子と交流した。

11月16日、根岸理事長、平古場・及川両副理事長の3人が「プレチークむつこ小学校」に通う里子(5人)を訪問、プレゼントを届けた。新規里子候補の子どもたち(5人)の聞き取り調査も行った。

11月15日と17日、日本で預かった里子へのプレゼントを、根岸理事長と現地スタッフが里子の自宅へ届けた。

里子への教育支援金を隔月に届けています

本会のカンボジア事務所では現地スタッフが、教育里子に通う小学校(現在27校)を隔月に訪問、里親から頂いた年会費(1人当たり3万円)の中から、42%に当たる12600円を年6回に分け、米ドルにして里子にお届けしている。

中・高校に通う里子も出身校の小学校に集まり、教育支援金を渡している。

11月下旬から12月上旬にかけて、10月と11月分を届けた。



支援金を届けました

山口かおるさんがカンボジアの小学校に井戸寄贈



真ん中が山口かおるさん

日本クラウン所属の歌手、山口かおるさん(東京都葛飾区出身)が、神戸ユネスコ協会(神戸市中央区)と協力して、カンボジアの小学校に井戸を寄贈した。11月20日、神戸ユネスコ協会が主催したカンボジア訪問旅行の中で、その贈呈式を行った。

山口さんは仕事の都合で贈呈式に行けなかったが、同協会の加藤会長が代わって挨拶した。

山口さんは、神戸ユネスコ協会の会員として多方面にわたり社会貢献活動を行って、今回の井戸寄贈もその一環として行われた。

子どもたちは、完成した井戸から出るきれいな水で顔を洗ったり、飲んだりして、喜びを表していた。



山口様寄贈のネームプレート

グローバルフェスタ2019に18年連続で出展

9月28日、29日の両日、「お台場センタープロムナード公園」(東京都江東区青海)に於いて「グローバルフェスタ2019」が開催され出展した。2002年から18年間にわたり連続出展中。

日本最大級の国際協力イベントとして、約300のNPO・NGO・企業・公共機関などが出展。本会もカンボジア製品を販売したり会報を配布して広報活動を行った。

両日とも晴天に恵まれ、多くの皆さんが来場してくれた。時代を反映し外国人の来場が目立った。



お手伝いボランティアの皆さん

失われたクメール美術教育復活プロジェクト

8月13日、「アジアデザイン・アート展覧会コンソーシアム」(藤澤忠盛代表II昭和女子大学准教授)が国際交流基金の助成を受け、「失われたクメール美術教育復活プロジェクト」として、本会が教育支援する「ソムブルー小学校」(コンボンヌプー県チュバモン郡・生徒数1330人)の生徒たちを対象に、授業の一環として美術教育を行った。(午前8時〜12時)

主催側のスタッフら十数名が生徒たちに絵の具の使い方、表現方法などを指導、美術科目がない生徒たちは一生懸命描き、立派な絵が完成した。

翌14日は場所を変え、プノンペン市内の「CJCCII絆ホール」で美術教育を継続、ソムブルー小学校の生徒たち(20人)が参加した。

雨谷麻世チャリティコンサート

10月6日、新潟市内の「新潟テルサ」に於いて、「世界の恵まれない地域に小学校を作る会」(新潟市秋葉区・石川幸夫代表)と「新津ライオンズクラブ」(新潟市秋葉区)が共催する「雨谷麻世チャリティコンサート」が昼夜2回開催され、多くの皆さんが来場した。

同会は、毎年10月に行う「チャリティコンサート」の収益金でアジアの貧しい地域に小学校の校舎を贈り続け、今年は24回目のコンサートだった。

会場ロビーでは、主催者の厚意でスカーフやティッシュなどのカンボジア製品販売を行い、新潟県在住のカンボジア人留学生(6人)が手伝ってくれた。

ステージでは、ショーの冒頭に収益金の目録贈呈式が行われ根岸理事長が出席、カンボジアに小学校を作るための建設費用の目録を頂いた。



真ん中が雨谷麻世さん

「桐生赤城ロータリークラブ」例会で講演

9月10日、「桐生プリオパレス」(群馬県桐生市堤町)で「桐生赤城ロータリークラブ」例会が行われ、根岸理事長が講演した。約30名のメンバーが出席した。

同クラブのメンバー、清水開発(株)社長の清水哲さんが本会の団体会員であることから、招聘を受けた。

同クラブは今年度予算で、カンボジアに井戸とトイレ棟を寄贈することが決まり、御礼の挨拶を兼ねて伺った。

札幌手稲高等学校家庭クラブの皆さんがカンボジア訪問

11月7日〜15日、第43回「夢ホーム・里子訪問の旅」に、「北海道札幌手稲高等学校家庭クラブ」の高校生3人が参加した。引率のため、一人の先生が同行した。

同クラブは2009年から毎年、カンボジアの小学校に井戸を寄贈しており、今旅行の中で井戸贈呈式を行った。12基目の贈呈。

一行は、オプションとして「アンコールワット観光&トンレサップ湖周遊」にも参加し、有意義な9日間を過ごした。

手稲高校家庭クラブの皆様



「清友会」がカンボジア訪問

11月7日〜13日、清水開発株式会社(群馬県桐生市、清水哲社長)の協力会社からなる「清友会」一行5人が、カンボジアを訪問した。

8日、小学校を訪問、同会が寄贈した井戸とトイレ棟の贈呈式を行い、生徒たちに学用品セットを配布した。

9日〜12日はアンコールワット観光などを楽しみ、12日の夜便で帰国した。

清友会の皆様



神戸ユネスコ協会がカンボジア訪問

11月18日〜25日、本会と連携してカンボジアを支援している「神戸ユネスコ協会」(神戸市中央区、加藤義雄会長)の会員ら12人がカンボジアを訪問、活動を行った。

18日、同協会が2012年に校舎を寄贈した小学校を訪問、生徒たちに学用品セットを配布し交流した。

19日、二つの小学校に井戸を寄贈、その贈呈式を行った。

20日、本会が運営する児童養護施設「夢ホーム」を訪問、お米、お菓子などを寄贈し子どもたちと交流した。その後近隣にあるスラム街を訪問、お菓子を配り子どもたちと交流した。

中国やバンラディッシュなどから日本へ留学している学生、6人が参加、国際色豊かな訪問旅行になった。



真ん中が加藤義雄会長

創立20周年記念祝賀会開催のご案内

本会は、2000年1月に創立して以来、1月に20周年を迎えるに至りました。これもひとえに皆様のご支援の賜物と、深く感謝申し上げます。

つきましては、創立20周年を記念し心ばかりの粗宴を催したいと存じます。ご多用の折誠に恐縮ではありますが、何卒ご臨席賜りますよう、謹んでご案内申し上げます。

なお本会会員の皆様には、近くになりましたら改めて書面にてご案内申し上げます。

◎日時 2020年4月11日(土) 午後1時～3時

◎会場 京王プラザホテル 47階 あおぞらの間
(JR新宿駅西口 徒歩5分)

◎会費 1万円

※本会会員でなくても出席可能です。お申込みは下記へお願いいたします。

◎電話 03-3991-2854

◎FAX 03-3557-1213

2020年度 里子訪問・学校訪問の旅 年間日程表

回	成田出発日	成田帰国日(延泊)	申込期限
第44回	3月5日(木)	3月11日～(13日)	2月5日
第45回	7月2日(木)	7月8日～(10日)	6月2日
第46回	11月5日(木)	11月11日～(13日)	10月5日

本会の会員状況をお知らせいたします

(2019年11月末日現在)

●教育里親会員	259名
●個人会員	100名
●団体会員	8団体
●寄付協力者(単発)	57名
合 計	424名

書き損じハガキ・未使用切手

・商品券等をお送りくださいませ

本会では、書き損じハガキ・未使用の切手・ピールやデパートの商品券を集め、活動資金にしております。皆様の家に眠っているものがございましたら、ご協力くださいますよう、よろしくお願い致します。普通郵便で事務局へお送りください。



事務局便り

■第43回「夢ホーム・里子訪問の旅」は一部参加者含む17人が参加、無事に終了しました。3月催行の「第44回旅」の募集を開始しました。百聞は一見にしかず、是非一度カンボジアを訪れてください。

■スケジュールの関係で、根岸理事長が12月18日～31日、カンボジアを訪問しました。その関係で1月渡航はございません。次は3月3日に出発を予定していますので、里子へのプレゼントは2月25日までに事務局へお願いいたします。

■2020年は創立20周年記念祝賀会や東京オリンピックピックがあり、せわしない一年になりそうです。健康に留意し、お互い頑張りましょう。

1月～4月の予定

●会報「アンコールワット」1月1日付第110号発行

●第44回「里子訪問・学校訪問の旅」(3月5日～11日)

●第18回定期総会(開催日・開催会場未定)

●創立20周年記念祝賀会(4月11日、京王プラザホテル)



児童養護施設「夢ホーム」閉園のお知らせ

本会は、不遇な家庭環境にある子どもたちが安心して暮らし、学校に行けるようにと2009年3月、会員の皆様のご支援を賜り、カンボジアのコンボンスプー県に児童養護施設「夢ホーム」を創設しました。

その後約10年間にわたり運営を継続、沢山の子どもたちが入園して近隣の小・中・高校へ通学、その成果を充分にあげることができました。

2015年には、第1期生として6人の子どもたちが高等学校を卒業、と同時に「夢ホーム」を卒園、社会に巣立っていきました。

その後、カンボジア経済が成長する中で「夢ホーム」のあるコンボンスプー県の暮らし向きが少し豊かになるとともに、「夢ホーム」へ入園を希望する子どもたちも少なくなくなりました。(現在5人の子どもたちが暮らしています)

そこで、「夢ホーム」は所期の目的を達成したと判断、子どもたちの学年末である8月末日をもって閉園することいたしました。なお子どもたちの動向によっては、閉園の時期が多少早まる可能性もございます。

在園児につきましては、原則として各々の故郷に帰郷、他の教育里子同様「在宅教育支援」に切り替え、就学支援を継続することいたしました。

約10年間の歩みでしたが、多くの皆さんから運営のご支援を賜りまして、篤く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

2020年1月1日

NPO法人 21世紀のカンボジアを支援する会

理事長 根岸恒次

活動に参加しませんか

正会員として

●教育里親会員(年額3万円)

子どもたちへ直接払う年額

1万2千6百円(42%)

会の運営に回す年額

1万7千4百円(58%)

●個人会員(年額5千円)

●団体会員(年額1万円)

寄付金

当会の活動に賛同いただける方からの寄付金も受付しております。

会費・寄付金の送付は、銀行振込、郵便振替、現金書留で。

【口座名】

21世紀のカンボジアを支援する会

【ゆうちょ銀行】

019支店 当座0160916

【りそな銀行】

練馬支店 普通4098235

●ゆうちょ銀行の自動引き落としをご希望の方は事務局へご連絡ください。

●会員の皆様には、隔月発行する本会の会報「アンコールワット」を発行の都度郵送します。

「里子訪問・学校訪問の旅 in Cambodia」実施のお知らせ

第43回「カンボジア夢ホーム・里子訪問の旅」は会員17人が参加し、11月7日～13日に行われました。

第44回の旅は名称変更とともに、ご年配の参加者にも配慮した余裕ある日程を組みましたので、皆様のご参加をお願い申し上げます。

【旅の主催】

●「里子訪問・学校訪問の旅 in Cambodia」実行委員会

●本会は従来通り側面からサポートします。

【旅の期間】2020年3月5日(木)～3月11日(水)＝成田到着日

【主な内容】

●小学校を訪問、井戸の贈呈式に参加、学用品を配布し生徒たちと交流

●本会が教育支援する里子たちの家庭を訪問、里子たちと交流

●小学校で「子どもフェスティバル」(運動会)を開催、生徒たちと交流

【参加対象】本会の教育里親会員、及び個人・団体会員(入会すれば即参加可能)

【滞在実費概算】

●5泊7日で滞在費用は350ドル～400ドル程度(4万円～4万5千円程度)

《内訳》部屋代5泊半日で165ドル、交通費・食事代・観光経費で約200ドル

(2万2千円程度)

●往復航空券(各自手配)(成田～プノンペン)7万円～8万円(時期、購入方法により異なります)

【主な日程】

●3月5日(木) 成田午前11時発(ANA直行便・NH817便)プノンペン行き

●3月6日(金) 小学校訪問、井戸贈呈式・学用品配布・生徒と交流

●3月7日(土) コース選択

Aコース＝アプサラ芸術学校訪問&スラム街の子どもたち訪問

Bコース＝小学校訪問、生徒たちと交流&フェスティバル準備

●3月8日(日) プレチーク小学校(里子数＝約60人)訪問、「子どもフェスティバル」(運動会) ※綱引き、玉入れ、タイヤ引きなど(リサイクル衣料品配布)

●3月9日(月) 里子訪問、農村視察(原則全員参加します)

●3月10日(火) 午前＝ワットコフ小学校訪問、出前授業 午後＝自由行動(希望者にはプノンペン市内史跡巡りコースもあります) ANA直行便(NH818便・22時50分発)で帰国(機内泊)

●3月11日(水) 午前6時半 成田空港着

【オプションツアー】

10日の午後から12日にかけて(2泊3日)アンコールワット観光&トンレサップ湖観光を行います。

費用＝1人350ドル以上(参加者数により変わります)、3人以上の参加者あれば催行します。

◎航空券は原則個人で手配願います。(インターネット又は近くの旅行社で購入)

◎入国ビザは現地の空港で取得します。(30ドルかかります)

◎ホテルの予約、車手配は実行委員会が行います。

◎参加締切日は出発の1カ月前(2月5日)、ご希望の方は事務局へ連絡願います。

◎連絡先＝NPO法人 21世紀のカンボジアを支援する会

電話 03-3991-2854 FAX 03-3557-1213

メール info@aac21.net



感動的な里子訪問

